

柔道整復科

からだのしくみ2

対象	3年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	神野宏司			実務経験	無	職種					

授業概要

体の働きについての概要を学びます。

到達目標

体の構造や機能に対する知識は、すべての医学分野の学習において欠く事のできないものといえる。この科目では、人体を深く理解するうえで広範囲な人体の10系統について医療現場にて患者へ必要かつ理解しやすい説明を行える知識を習得することを目標にしている。

授業方法

教科書中心で授業を進める。人体は、多数の種類の細胞が集まってできており、同じ種類の細胞が集まると組織ができる。さらに、いくつかの組織が目的をもって集まり、ある一定の形態をそなえ働くものを器官といい、その器官が連携し協同して働くものを器官系という。人体は細胞・組織・器官・器官系という一連の仕組みで基本的に構成されていることを系統ごとに学ぶ。

成績評価方法

試験と課題を総合的に評価する。

履修上の注意

国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の1以上欠席した者は定期試験を受験することができない。

教科書教材

教科書は「解剖学」を持参する。その項目ごとに資料を配布する。

回数	授業計画
第1回	内分泌（下垂体・松果体・甲状腺）
第2回	内分泌（上皮小体・副腎・胰臓）
第3回	感覚器（皮膚）

第4回	感覚器（視覚器）
第5回	感覚器（聴覚器および平衡器）
第6回	感覚器（味覚器）
第7回	感覚器（嗅覚器）
第8回	7週までの振り返りと確認演習
第9回	呼吸器、内分泌
第10回	体表解剖、感覚器系
第11回	泌尿器系、生殖器系
第12回	消化器系、発生学
第13回	脈管系、神経系
第14回	13週までの振り返りと確認演習
第15回	まとめ